「若手研究者問題」解決に向けた歴史学関係者の研究・生活・ジェンダーに関するウェブ・アンケート調査

研究機関研究員の立場についての表一覧

回答期間　　2015 年 9 月 24 日～2016 年 3 月 31 日
有効回答者数　518 名
（うち研究機関研究員と回答した者　35 名）

本ウェブ・アンケート調査は、2017 年 2 月に中間報告書を発表しており、また 2018 年 3 月に最終報告書を発表する予定であった。しかし、大部の分析となったことから、公表できる形にまで整理することに想定よりも大幅に時間がかかっている。ここでは、大学教員の立場について、最終報告書で扱う表を一覧にした。2019 年度末までにすべての立場と全体を総括する最終報告書を公表する予定である。本アンケートに回答いただいた諸氏には、報告書の公表が遅れたことを深くお詫びするとともに、引き続き本取り組みへの関心と周知を含めたご協力をお願いしたい。

2019 年 7 月 6 日

日本歴史学協会
若手研究者問題特別委員会

表 1　性別・立場別の回答者数および割合

Q1XQ2XQ22		男性	女性	合計
大学院生	実数	54	30	84
	比率	64.3	35.7	100.0
大学非常勤講師	実数	25	18	43
	比率	58.1	41.9	100.0
研究機関研究員	実数	21	13	34
	比率	61.8	38.2	100.0
大学教員	実数	204	55	259
	比率	78.8	21.2	100.0
大学教員（45 歳未満）	実数	113	31	144
	比率	78.5	21.5	100.0
専門職	実数	30	7	37
	比率	81.1	18.9	100.0
中学校・高校教員	実数	14	2	16
	比率	87.5	12.5	100.0
自由研究者	実数	25	11	36
	比率	69.4	30.6	100.0

1）性別を「どちらでもない」と回答した研究機関研究員、大学教員、Q22 無回答者 1 名は除く。
2）Q22 無回答者 7 名は除く。
3）本分析では、設問で「その他」の立場を選択した回答者を「自由研究者」と表記した。回答には、大学助手、研究室助手（教育・研究担当）、無給の大学研究員、大学職員、大学非常勤職員、大学嘱託員、大学職員教務補佐、大学共同利用機関法人、研究機関契約職員、研究機関アルバイト、図書館非常勤職員と兼業の大学非常勤講師、他職業との兼業非常勤講師、非常勤講師兼アルバイト、アーカイブ事務職員、教育支援スタッフ、地方自治体職員（任期付き）、自治体職員、出版、「小学校関係」、弁護士、私塾講師、会社員、一般企業派遣社員、主婦、アルバイト、無職、大学教員退職者、名誉教授、経理職、退職、「いわゆる後期高齢者」が含まれる。一部に他の立場に加えるべき回答もあるが、他の回答項目との関係から「自由研究者」の区分のままとした。

表 2　研究対象の地域

Q5XQ22	研究機関研究員		回答者全体	
	実数	比率	実数	比率
日本	20	57.1	248	47.9
中国・朝鮮	5	14.3	70	13.5
その他アジア地域	1	2.9	20	3.9
アフリカ	1	2.9	3	0.6
ヨーロッパ	8	22.9	136	26.3
南北アメリカ	0	0.0	22	4.2
オセアニア	0	0.0	1	0.2
その他	0	0.0	14	2.7
無回答	0	0.0	4	0.8
合計	35	100.0	518	100.0

注）「その他」には、「ユーラシア」3 名、「ヨーロッパ・東アジア」2 名、「中東」2 名の外、「東アジア」、「複数地域」、「世界」、「地域横断」、「東アジア（日本・中国・朝鮮及び欧米諸国）」、「地域を一つに限定していない。主として米国と日本」、「日本と南アメリカ」各 1 名が含まれる。

表 3　研究対象の時代(複数回答)

Q5・SQ1	研究機関研究員		回答者全体	
XQ22	実数	比率	実数	比率
先史	0	0.0	1	0.2
古代	4	11.4	66	12.7
中世	11	31.4	111	21.4
近世	10	28.6	133	25.7
近代	7	20.0	231	44.6
現代	11	31.4	162	31.3
合計	43	122.9	704	135.9
ケース数	35	100.0	518	100.0

表 4　研究対象のテーマ・内容（複数回答）

Q5・SQ2XQ22	研究機関研究員		回答者全体	
	実数	比率	実数	比率
世界史	2	5.7	44	8.5
交流史	1	2.9	56	10.8
比較史	2	5.7	22	4.2
グローバル化	0	0.0	0	0.0
島嶼・海域史	0	0.0	16	3.1
考古学	0	0.0	9	1.7
史学史・歴史理論	3	8.6	28	5.4
資料研究	5	14.3	44	8.5
アーカイブズ学	1	2.9	20	3.9
歴史教育	0	0.0	18	3.5
思想史	6	17.1	63	12.2
社会史	10	28.6	176	34.0
経済史	3	8.6	81	15.6
外交史	5	14.3	66	12.7
政治史	16	45.7	184	35.5
法制史	5	14.3	39	7.5
女性史	2	5.7	23	4.4
ジェンダー史	4	11.4	33	6.4
地域史	8	22.9	113	21.8
都市史	1	2.9	28	5.4
村落史	2	5.7	34	6.6
文化史	8	22.9	67	12.9
美術史	0	0.0	7	1.4
環境史	3	8.6	10	1.9
技術史	0	0.0	5	1.0
教育史	0	0.0	29	5.6
農業史	1	2.9	13	2.5
医学史	0	0.0	8	1.5
スポーツ史	0	0.0	3	0.6
軍事史	3	8.6	23	4.4
宗教史	2	5.7	42	8.1
災害史	1	2.9	6	1.2
科学史	0	0.0	8	1.5
建築史	0	0.0	3	0.6
その他	4	11.4	23	4.4
無回答	0	0.0	0	0.0
合計	98	280.0	1344	259.5
ケース数	35	100.0	518	100.0

注）その他の回答には、社会運動史 2 件のほか、音楽史、国家史、芸術史、民族史、古文書学、天皇論、テクスト論、経営史、労働史、子ども史、文学、国際政治史、林業史、福祉史、政治思想史、交通史、民衆運動史、国際関係史、日中関係史、博物館学、社会福祉各 1 件が含まれる。

表 5　研究機関研究員および大学院生の性別年齢構成

Q1XQ2XQ22	研究機関研究員				大学院生				回答者全体			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
24 歳以下	0	0.0	0	0.0	8	14.8	11	36.7	10	2.7	11	8.0
25 歳～29 歳	6	28.6	0	0.0	26	48.1	10	33.3	43	11.4	13	9.4
30 歳～34 歳	8	38.1	5	38.5	12	22.2	6	20.0	53	14.1	25	18.1
35 歳～39 歳	5	23.8	4	30.8	5	9.3	0	0.0	87	23.1	22	15.9
40 歳～49 歳	2	9.5	4	30.8	1	1.9	0	0.0	92	24.4	40	29.0
50 歳～59 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	10.0	60	15.9	21	15.2
60 歳以上	0	0.0	0	0.0	2	3.7	0	0.0	32	8.5	6	4.3
合計	21	100.0	13	100.0	54	100.0	30	100.0	377	100.0	138	100.0

注）Q1 の性別について「どちらでもない」と回答した 3 名および Q22 の無回答者 7 名を除く。

表 6　在籍中もしくは以前在籍した大学院の種類

Q3XQ2XQ22		国立	公立	私立	海外	大学・短大・高専	その他	合計
大学院生	実数	40	2	35	7	0	0	84
	比率	47.6	2.4	41.7	8.3	0.0	0.0	100.0
大学非常勤講師	実数	23	1	17	1	0	1	43
	比率	53.5	2.3	39.5	2.3	0.0	2.3	100.0
研究機関研究員	実数	23	1	10	1	0	0	35
	比率	65.7	2.9	28.6	2.9	0.0	0.0	100.0
大学教員	実数	187	7	45	19	2	0	260
	比率	71.9	2.7	17.3	7.3	0.8	0.0	100.0
大学教員（45 歳未満）	実数	98	6	27	13	0	0	144
	比率	68.1	4.2	18.8	9.0	0.0	0.0	100.0
専門職	実数	12	3	20	0	2	0	37
	比率	32.4	8.1	54.1	0.0	5.4	0.0	100.0
中学校・高校教員	実数	4	0	8	0	4	0	16
	比率	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	100.0
自由研究者	実数	15	5	13	1	2	0	36
	比率	41.7	13.9	36.1	2.8	5.6	0.0	100.0

注）Q22 無回答者 7 名を除く。

表 7　在籍中もしくは以前在籍した大学院の所在地

Q3・SQXQ2 XQ22		北海道・東北	東京	東京以外の関東	中部	近畿	中国・四国・九州	海外	無回答	合計
大学院生	実数	5	45	2	7	16	2	7	0	84
	比率	6.0	53.6	2.4	8.3	19.0	2.4	8.3	0.0	100.0
大学	実数	4	23	3	4	4	4	1	0	43
非常勤講師	比率	9.3	53.5	7.0	9.3	9.3	9.3	2.3	0.0	100.0
研究機関	実数	1	21	1	2	7	2	1	0	35
研究員	比率	2.9	60.0	2.9	5.7	20.0	5.7	2.9	0.0	100.0
大学教員	実数	25	134	11	4	49	18	19	0	260
	比率	9.6	51.5	4.2	1.5	18.8	6.9	7.3	0.0	100.0
大学教員	実数	14	72	8	2	24	11	13	0	144
(45 歳未満)	比率	9.7	50.0	5.6	1.4	16.7	7.6	9.0	0.0	100.0
専門職	実数	0	16	3	2	12	4	0	0	37
	比率	0.0	43.2	8.1	5.4	32.4	10.8	0.0	0.0	100.0
中学校・	実数	1	9	3	0	3	0	0	0	16
高校教員	比率	6.3	56.3	18.8	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	100.0
自由研究者	実数	1	24	1	1	5	2	1	1	36
	比率	2.8	66.7	2.8	2.8	13.9	5.6	2.8	2.8	100.0

注)Q22 無回答者 7 名を除く。

表 8　研究機関研究員の取得学位

Q4XQ22	実数	比率
修士まで	9	20.9
国内のみ	9	100.0
博士まで	26	60.5
修士国内・博士国内	9	34.6
修士未記入・博士国内	16	61.5
修士未記入・博士海外	1	3.8
無回答	8	18.6
合計	43	100.0

注)上記以外には、学士号取得に加えて「上記以外」を選択した 1 名を含む。

表 9　研究機関研究員と大学非常勤講師の取得学位と現在の専門・所属との関係の有無（性別）

Q5・SQ3XQ1XQ22		回答者全体		研究機関研究員		大学非常勤講師	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
関係がある	実数	260	97	12	9	16	11
	比率	69.0	70.3	57.1	69.2	64.0	61.1
関係がない	実数	115	40	9	4	9	7
	比率	30.5	29.0	42.9	30.8	36.0	38.9
無回答	実数	2	1	0	0	0	0
	比率	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	実数	377	138	21	13	25	18
	比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注）Q1 の性別無回答者を除く。

表 10　研究機関研究員および大学教員（45 歳未満）の任期の有無

1）研究機関研究員

Q40XQ1	全体		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
任期あり	32	91.4	20	95.2	11	84.6
任期なし	3	8.6	1	4.8	2	15.4
合計	35	100.0	21	100.0	13	100.0

注）全体の合計には Q1 の性別で「どちらでもない」と回答した者を含むため、男女の合計と一致しない。

2）大学教員（45 歳未満）

Q49XQ1	全体		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
任期あり	30	20.8	23	20.4	7	22.6
任期なし	114	79.2	90	79.6	24	77.4
合計	144	100.0	113	100.0	31	100.0

表 11　研究機関研究員の任期の年数

Q40・SQ	全体		男性		女性	
XQ1	実数	比率	実数	比率	実数	比率
5 年	1	3.1	1	5.0	0	0.0
4 年	1	3.1	1	5.0	0	0.0
3 年	13	40.6	7	35.0	6	54.5
2 年	6	18.8	4	20.0	1	9.1
1 年	10	31.3	6	30.0	4	36.4
無回答	1	3.1	1	5.0	0	0.0
合計	32	100.0	20	100.0	11	100.0

注）全体の合計には Q1 の性別で「どちらでもない」と回答した者を含むため、男女の合計と一致しない。

表 12　研究機関研究員の給与の有無

Q39XQ1	全体		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
有給	32	91.4	19	90.5	12	92.3
無給	3	8.6	2	9.5	1	7.7
合計	35	100.0	21	100.0	13	100.0

表 13　立場別および日本史・外国史別留学経験の有無

Q13XQ2 XQ5XQ22		日本史			外国史		
		あり	なし	計	あり	なし	計
回答者全体	実数	35	213	248	207	58	265
	比率	14.1	85.9	100.0	78.1	21.9	100.0
大学院生	実数	9	32	41	25	17	42
	比率	22.0	78.0	100.0	59.5	40.5	100.0
研究機関研究員	実数	2	18	20	12	3	15
	比率	10.0	90.0	100.0	80.0	20.0	100.0
大学教員	実数	15	81	96	136	25	161
	比率	16	84	100	84.5	15.5	100.0
大学教員（45 歳未満）	実数	12	44	56	74	13	87
	比率	21.4	78.6	100.0	85.1	14.9	100.0

1）関係・比較史のなかで日本を研究対象とする場合も外国史に含めた。
2）Q5 および Q13 の無回答者を除く。

表 14　研究機関研究員、大学院生、大学教員の留学経験の有無

Q13XQ2 XQ22	回答者全体		研究機関研究員		大学院生		大学教員		大学教員（45 歳未満）	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	245	47.3	14	40.0	33	39.3	154	59.2	87	60.4
なし	272	52.5	21	60.0	50	59.5	106	40.8	57	39.6
無回答	1	0.2	0	0.0	1	1.2	0	0.0	0	0.0
合計	518	100.0	35	100.0	84	100.0	260	100.0	144	100.0

表 15 研究機関研究員、大学院生、大学教員の留学経験の有無(性別)

Q13XQ1 XQ22	回答者全体				研究機関研究員			
	男性		女性		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	168	44.6	76	55.5	10	47.6	4	30.8
なし	209	55.4	61	44.5	11	52.4	9	69.2
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	377	100.0	137	100.0	21	100.0	13	100.0

Q13XQ1 XQ2XQ22	大学院生				大学教員				大学教員 (45 歳未満)			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	18	33.3	15	50.0	111	54.4	42	76.4	62	54.9	25	80.6
なし	36	66.7	14	46.7	93	45.6	13	23.6	51	45.1	6	19.4
無回答	0	0.0	1	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	54	100.0	30	100.0	204	100.0	55	100.0	113	100.0	31	100.0

注)Q1 の性別無回答者を除く。

表 16 研究機関研究員、大学院生、大学教員の留学期間

Q13・SQ1 XQ2XQ22	回答者 全体		研究機関 研究員		大学院生		大学教員		大学教員 (45 歳未満)	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
半年以内	24	9.8	4	28.6	7	21.9	7	4.5	4	4.6
1 年以内	68	27.8	5	35.7	8	25.0	40	25.8	20	23.0
2 年以内	77	31.4	3	21.4	9	28.1	53	34.2	31	35.6
3 年以内	27	11.0	1	7.1	2	6.3	18	11.6	7	8.0
4 年以内	16	6.5	0	0.0	2	6.3	14	9.0	11	12.6
5 年以内	8	3.3	0	0.0	1	3.1	6	3.9	4	4.6
それ以上	23	9.4	1	7.1	3	9.4	15	9.7	9	10.3
無回答	2	0.8	0	0.0	0	0.0	2	1.3	1	1.1
合計	245	100.0	14	100.0	32	100.0	155	100.0	87	100.0

表 17　研究機関研究員・大学院生・大学教員（45 歳未満）の留学の主な資金源（複数回答）

Q13・SQ2 XQ2XQ22	回答者全体		研究機関研究員		大学院生		大学教員（45 歳未満）	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
日本の公的奨学金（育英会、学生支援機構等）	43	17.6	5	22.7	29	18.8	16	18.4
日本学術振興会	47	19.2	0	0.0	37	24.0	20	23.0
大学院のプログラム	24	9.8	3	13.6	13	8.4	8	9.2
所属大学の助成	8	3.3	0	0.0	5	3.2	1	1.1
留学先の公的奨学金	86	35.1	7	31.8	62	40.3	39	44.8
民間の奨学金	44	18.0	5	22.7	25	16.2	14	16.1
私費	111	45.3	13	59.1	65	42.2	40	46.0
その他	4	1.6	1	4.5	2	1.3	1	1.1
無回答	5	2.0	0	0.0	4	2.6	2	2.3
合計	372	151.8	34	154.5	242	157.1	141	162.1
ケース数	245	100.0	22	100.0	154	100.0	87	100.0

1）国費、文科省、文部省、文科省在外研究費、国際交流基金、地方自治体の奨学金の回答（6 件）は、日本の公的奨学金（育英会、学生支援機構等）に含めた。

2）所属大学の資金、所属大学より、所属大学からの助成金、所属大学の経費、勤務先の奨学金、勤務先大学、勤務先大学の助成、留学プログラムとは別の学内奨学金、大学のプログラムの回答（9 件）は、所属大学からの助成に含めた。

3）相手国の政府奨学金、DAAD、フンボルト財団（ドイツ）、外国の奨学金、Fulbright、中国の公的奨学金、中国政府の回答（7 件）は、留学先の公的奨学金に含めた。

4）民間の留学賞賞金の回答（1 件）は、民間の奨学金に含めた。

5）留学先での家庭教師などのアルバイトの回答（1 件）は、私費に含めた。

6）大学学部のプログラムと思われる、大学（学部）のプログラム、学部のプログラム（交換留学）、交換留学制度の金銭支援の 3 件は、その他に含めた。

7）全体の回答者数には Q22 の現在の立場に関する設問で無回答の者 3 名を含めており、立場別の実数の合計と異なる。

表 18　性別・立場別の職業選択の条件(5 を最高とする 5 段階評価の平均値)

Q61XQ1XQ2XQ22		地理的条件	給与など経済的条件	研究環境
大学院生	男性	2.89	3.46	4.09
	女性	3.70	3.57	3.80
大学非常勤講師	男性	2.36	2.80	3.56
	女性	3.44	2.78	3.56
研究機関研究員	男性	3.05	3.29	4.10
	女性	3.46	3.85	4.31
大学教員	男性	3.16	3.37	4.25
	女性	3.44	3.31	4.24
大学教員(45 歳未満)	男性	3.07	3.38	4.18
	女性	3.32	3.55	4.19
専門職、中学校・高校教員	男性	3.30	3.59	4.02
	女性	4.00	4.22	3.67
自由研究者	男性	3.08	3.56	4.28
	女性	3.82	4.00	4.18

注)Q1 および Q22 の無回答を除く。

表 19　研究機関研究員の職業選択の条件

1)全体

Q61XQ22	地理的条件		給与など経済的条件		研究環境	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても当てはまる	6	17.6	6	17.6	13	38.2
ある程度当てはまる	13	38.2	12	35.3	15	44.1
どちらとも言えない	3	8.8	9	26.5	5	14.7
あまり当てはまらない	6	17.6	7	20.6	1	2.9
全く当てはまらない	6	17.6	0	0.0	0	0.0
合計	34	100.0	34	100.0	34	100.0

2)男性

Q61XQ1XQ22	地理的条件		給与など経済的条件		研究環境	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても当てはまる	3	14.3	1	4.8	6	28.6
ある程度当てはまる	8	38.1	9	42.9	11	52.4
どちらとも言えない	2	9.5	6	28.6	4	19.0
あまり当てはまらない	3	14.3	5	23.8	0	0.0
全く当てはまらない	5	23.8	0	0.0	0	0.0
合計	21	100.0	21	100.0	21	100.0

3)女性

Q61XQ1XQ22	地理的条件		給与など経済的条件		研究環境	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても当てはまる	3	23.1	5	38.5	7	53.8
ある程度当てはまる	5	38.5	3	23.1	4	30.8
どちらとも言えない	1	7.7	3	23.1	1	7.7
あまり当てはまらない	3	23.1	2	15.4	1	7.7
全く当てはまらない	1	7.7	0	0.0	0	0.0
合計	13	100.0	13	100.0	13	100.0

表 20　研究機関研究員および大学教員(任期あり)の将来の進路に関する意識

1)研究機関研究員(任期あり)

Q41	条件がよい研究職があれば、転職したい		今の仕事を続けていきたい		研究職以外に転職したい	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とてもそう思う	1	33.3	2	66.7	0	0.0
ある程度そう思う	0	0.0	0	0.0	0	0.0
どちらとも言えない	0	0.0	1	33.3	0	0.0
あまりそう思わない	1	33.3	0	0.0	0	0.0
全くそう思わない	1	33.3	0	0.0	3	100.0
合計	3	100.0	3	100.0	3	100.0

2)研究機関研究員(任期なし)

Q42	研究職(任期なし)を目指す		研究職以外に転職したい	
	実数	比率	実数	比率
とてもそう思う	25	78.1	1	3.1
ある程度そう思う	6	18.8	3	9.4
どちらとも言えない	1	3.1	3	9.4
あまりそう思わない	0	0.0	12	37.5
全くそう思わない	0	0.0	13	40.6
合計	32	100.0	32	100.0

3)大学教員(任期あり)

Q52	条件がよい研究職があれば、転職したい		現在の職場で契約を更新したい		研究職以外に転職したい	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とてもそう思う	21	60.0	10	28.6	0	0.0
ある程度そう思う	10	28.6	12	34.3	3	8.6
どちらとも言えない	1	2.9	9	25.7	4	11.4
あまりそう思わない	1	2.9	3	8.6	3	8.6
全くそう思わない	2	5.7	1	2.9	25	71.4
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	35	100.0	35	100.0	35	100.0

表 21　研究機関研究員・大学非常勤講師のコマ数（性別）

Q44XQ30XQ1		ケース数	最小値	最大値	平均値	中央値	標準偏差
研究機関研究員	男性	20	0	10	2.100	2.000	2.673
	女性	12	0	16	4.417	3.000	5.384
大学非常勤講師	男性	25	2	28	8.120	6.000	6.064
	女性	18	2	24	7.056	5.000	6.024

注)Q1 の設問に「どちらでもない」と回答したもの、またコマ数を「60」および「165」と回答したものを除く。

表 22　研究機関研究員と大学教員（45 歳未満）の研究業績および研究プロジェクトへの参加状況

Q14～Q17XQ2XQ22		単著書冊数	査読あり論文本数	査読なし論文本数	翻訳・書評・総説・資料紹介	学会発表回数	国際学会発表回数	参加した研究プロジェクト
研究機関研究員	平均値	1.200	4.629	5.457	7.853	12.636	1.794	2.265
	中央値	0.000	4.000	3.000	5.000	10.000	1.000	1.500
	標準偏差	2.188	2.713	6.887	11.932	8.492	3.170	2.165
大学教員（45 歳未満）	平均値	1.019	7.424	9.063	9.769	18.385	4.076	4.646
	中央値	1.000	6.000	6.000	6.000	15.000	2.500	3.000
	標準偏差	1.729	5.353	9.881	11.693	13.532	5.438	4.227

1）無回答は除外した。
2）単著書で 10 冊以上の記載は除外した。
3）研究機関研究員および大学教員の回答者で明らかな誤りと判断される回答を除外した。

表 23　研究機関研究員と大学教員（45 歳未満）の研究業績および研究プロジェクトへの参加状況（性別）

Q14～Q17XQ1 XQ2XQ22			単著書冊数	査読あり論文本数	査読なし論文本数	翻訳・書評・総説・資料紹介	学会発表回数	国際学会発表回数	参加した研究プロジェクト
研究機関研究員	男性	平均値	1.500	4.810	6.286	7.000	13.550	1.952	2.095
		中央値	0.000	5.000	3.000	5.000	9.000	1.000	1.000
		標準偏差	2.417	2.926	8.403	6.841	9.128	3.930	2.143
	女性	平均値	0.111	4.615	4.462	9.750	11.167	1.500	2.667
		中央値	0.000	4.000	4.000	5.000	10.000	1.500	3.500
		標準偏差	0.333	2.329	3.573	18.291	7.872	1.382	2.309
大学教員（45 歳未満）	男性	平均値	1.095	7.726	9.611	10.363	18.518	4.071	4.717
		中央値	1.000	6.000	7.000	7.000	15.000	2.000	3.000
		標準偏差	1.705	5.563	10.694	12.514	14.336	5.609	4.439
	女性	平均値	0.750	6.323	7.000	7.533	17.903	4.097	4.387
		中央値	0.000	5.000	5.000	5.000	17.000	3.000	4.000
		標準偏差	1.824	4.407	5.552	7.628	10.297	4.847	3.393

注）無回答および明らかに誤りと思われる回答を除外した。

表 24　立場別の研究を進めていく上での困難(5 を最高とする 5 段階評価の平均値)

Q6XQ2 XQ22	文献購入	文献収集環境	調査資金	学会・研究会参加(経済的制約)	学会・研究会参加(時間的制約)	同じ専門分野の人との交流	論文発表の媒体	研究時間
大学院生	3.79	3.08	3.73	3.27	3.33	3.19	3.05	3.26
大学非常勤講師	3.95	3.35	3.98	3.88	3.67	3.07	2.84	3.81
研究機関研究員	3.51	3.23	3.49	3.23	3.80	3.03	2.60	3.80
大学教員	2.23	2.81	2.48	2.04	3.83	3.08	2.37	4.15
大学教員(45 歳未満)	2.19	2.83	2.43	2.06	3.83	3.25	2.43	4.13
専門職	3.97	3.65	4.24	3.65	4.24	3.27	3.08	4.05
中学校・高校教員	3.19	4.06	3.75	3.13	4.31	3.81	3.38	4.56
自由研究者	3.86	3.86	3.97	3.53	3.86	3.56	3.67	4.03

注)Q22 の無回答者 7 名は除く。

表 25　立場別・性別の研究を進めていく上での困難(5 を最高とする 5 段階評価の平均値)

Q6XQ1XQ2XQ22		文献購入	文献収集環境	調査資金	学会・研究会参加(経済的制約)	学会・研究会参加(時間的制約)	同じ専門分野の人との交流	論文発表の媒体	研究時間
大学院生	男性	3.78	3.02	3.85	3.31	3.22	3.11	3.07	3.24
	女性	3.80	3.20	3.50	3.20	3.53	3.33	3.00	3.30
大学	男性	4.08	3.32	4.20	3.92	3.40	3.00	2.80	3.80
非常勤講師	女性	3.78	3.39	3.67	3.83	4.06	3.17	2.89	3.83
研究機関	男性	3.33	2.90	3.19	2.86	3.38	2.57	2.33	3.52
研究員	女性	3.69	3.62	3.85	3.69	4.54	3.69	2.92	4.31
大学教員	男性	2.29	2.77	2.51	2.10	3.79	3.03	2.33	4.06
	女性	2.05	2.95	2.36	1.84	4.00	3.24	2.53	4.45
大学教員	男性	2.25	2.81	2.45	2.11	3.79	3.18	2.35	4.02
(45 歳未満)	女性	1.97	2.90	2.35	1.90	3.97	3.52	2.71	4.55
専門職、中学	男性	3.80	3.77	4.11	3.55	4.30	3.43	3.18	4.23
校・高校教員	女性	3.44	3.78	4.00	3.22	4.11	3.44	3.11	4.11
自由研究者	男性	3.92	3.92	3.88	3.36	3.92	3.60	3.76	4.08
	女性	3.73	3.73	4.18	3.91	3.73	3.45	3.45	3.91

注)Q1 の性別について「どちらでもない」と回答した 3 名および Q22 の無回答者 7 名を除く。

表 26 研究機関研究員の研究を進めていく上での困難(性別)

1)男性

Q6XQ1XQ22	文献購入		文献収集環境		調査資金		学会・研究会参加(経済的制約)		学会研究会参加(時間的制約)		同じ専門分野の人との交流		論文発表の媒体		研究時間	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	6	28.6	5	23.8	6	28.6	2	9.5	4	19.0	3	14.3	2	9.5	6	28.6
ある程度感じる	5	23.8	1	4.8	4	19.0	7	33.3	8	38.1	3	14.3	1	4.8	7	33.3
どちらとも言えない	2	9.5	4	19.0	2	9.5	2	9.5	3	14.3	0	0.0	3	14.3	2	9.5
あまり感じない	6	28.6	9	42.9	6	28.6	6	28.6	4	19.0	12	57.1	11	52.4	4	19.0
全く感じない	2	9.5	2	9.5	3	14.3	4	19.0	2	9.5	3	14.3	4	19.0	2	9.5
計	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0

2)女性

Q6XQ1XQ22	文献購入		文献収集環境		調査資金		学会・研究会参加(経済的制約)		学会研究会参加(時間的制約)		同じ専門分野の人との交流		論文発表の媒体		研究時間	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	3	23.1	4	30.8	5	38.5	5	38.5	9	69.2	5	38.5	2	15.4	7	53.8
ある程度感じる	7	53.8	5	38.5	4	30.8	4	30.8	3	23.1	3	23.1	2	15.4	4	30.8
どちらとも言えない	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	2	15.4	3	23.1	1	7.7
あまり感じない	2	15.4	3	23.1	3	23.1	3	23.1	1	7.7	2	15.4	5	38.5	1	7.7
全く感じない	1	7.7	1	7.7	0	0.0	1	7.7	0	0.0	1	7.7	1	7.7	0	0.0
計	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0

表 27 研究機関研究員と大学教員(45 歳未満)の学会・研究会への参加状況

Q18～Q18・SQ3XQ2XQ22		所属学会・研究会数	よく参加する学会・研究会数	1 年あたりの学会・研究会参加回数	1 年あたりの競争的資金による研究会参加回数
研究機関研究員	平均値	6.206	3.324	9.324	3.088
	中央値	5.000	3.000	5.000	2.000
	標準偏差	3.724	2.212	10.854	4.267
大学教員(45 歳未満)	平均値	6.389	2.806	6.153	2.993
	中央値	6.000	3.000	5.000	2.000
	標準偏差	2.784	1.497	5.705	3.406

表 28　研究機関研究員と大学教員(45 歳未満)の居住形態別・立場別の学会・研究会への参加状況

Q18～Q18・SQ3XQ2XQ22XQ62			所属学会・研究会数	よく参加する学会・研究会数	1 年あたりの学会・研究会参加回数	1 年あたりの競争的資金による研究会参加回数
研究機関研究員	単身	平均値	6.000	3.417	8.833	1.417
		中央値	5.000	3.000	6.000	2.000
		標準偏差	3.330	2.314	8.590	1.379
	同居	平均値	6.318	3.273	9.591	4.000
		中央値	5.000	2.500	5.000	2.000
		標準偏差	3.993	2.208	12.094	5.014
大学教員(45 歳未満)	単身	平均値	7.122	2.796	5.612	2.000
		中央値	7.000	3.000	5.000	1.000
		標準偏差	3.025	1.695	4.945	2.654
	同居	平均値	6.011	2.811	6.432	3.505
		中央値	5.000	3.000	5.000	2.000
		標準偏差	2.587	1.394	6.066	3.643

注)単身には、フラットメイトの友人と居住している場合も含めた。

表 29　研究機関研究員の補助金申請用の研究者番号の有無

Q43XQ1	全体		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	27	77.1	17	81.0	9	69.2
なし	8	22.9	4	19.0	4	30.8
合計	35	100.0	21	100.0	13	100.0

表 30　研究機関研究員と大学教員(45 歳未満)の週当たりの研究時間

Q8XQ22	研究機関研究員		大学教員(45 歳未満)	
	実数	比率	実数	比率
0～10 時間未満	3	8.6	53	36.6
10～20 時間未満	9	25.7	40	27.6
20～30 時間未満	10	28.6	26	17.9
30～40 時間未満	6	17.1	16	11.0
40～50 時間未満	1	2.9	3	2.1
50～60 時間未満	3	8.6	4	2.8
60～70 時間未満	1	2.9	0	0.0
70～80 時間未満	1	2.9	1	0.7
80～90 時間未満	0	0.0	0	0.0
90～100 時間未満	0	0.0	0	0.0
無回答	1	2.9	2	1.4
合計	35	100.0	145	100.0

表 31　研究機関研究員の週の研究時間(性別)

1)平均値、中央値、標準偏差

Q8XQ1XQ22		ケース数	最小値	最大値	平均値	中央値	標準偏差
研究機関研究員	男性	20	5	77	27.250	24	19.428
	女性	13	1	56	23.077	20	15.201

2)研究時間別の割合

Q8XQ1XQ22			10 時間未満	10～20 時間未満	20～30 時間未満	30 時間～40 時間未満	40 時間以上	計
研究機関研究員	男性	実数	1	7	4	4	4	20
		比率	5.0	35.0	20.0	20.0	20.0	100.0
	女性	実数	2	2	5	2	2	13
		比率	15.4	15.4	38.5	15.4	15.4	100.0

注)無回答を除く。

表 32　研究機関研究員、大学院生、大学非常勤講師、大学教員の週の労働時間(性別)

Q7XQ1XQ22		ケース数	最小値	最大値	平均値	中央値	標準偏差
回答者全体	男性	368	0	90	37.272	40	19.333
	女性	133	0	84	32.587	36	18.207
研究機関研究員	男性	20	0	70	29.150	31	16.816
	女性	13	20	56	36.000	35	9.574
大学院生	男性	53	0	70	17.538	11	17.033
	女性	26	5	50	14.615	12	13.011
大学非常勤講師	男性	25	5	60	29.000	28	14.708
	女性	18	3	50	23.139	29	14.759
大学教員	男性	201	5	90	43.127	40	17.562
	女性	53	8	84	43.981	45	14.827
大学教員(45 歳未満)	男性	111	5	90	44.649	40.000	17.410
	女性	30	20	84	49.533	47.000	12.740

注)Q1 の性別についての設問で「どちらでもない」と回答したものと無回答を除く。

表 33 研究機関研究員、大学院生、大学非常勤講師、大学教員の週の労働時間(性別、労働時間別)

Q7XQ1XQ2XQ22			40 時間未満	40～60時間未満	60～70時間未満	70 時間～90 時間未満	90 時間以上	計
研究機関研究員	男性	実数	12	7	0	1	0	20
		比率	60.0	35.0	0.0	5.0	0.0	100.0
	女性	実数	7	6	0	0	0	13
		比率	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0	100.0
大学院生	男性	実数	46	5	1	1	0	53
		比率	86.8	9.4	1.9	1.9	0.0	100.0
	女性	実数	24	2	0	0	0	26
		比率	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	100.0
大学非常勤講師	男性	実数	16	8	1	0	0	25
		比率	64.0	32.0	4.0	0.0	0.0	100.0
	女性	実数	15	3	0	0	0	18
		比率	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
大学教員	男性	実数	62	98	23	16	2	201
		比率	30.8	48.8	11.4	8.0	1.0	100.0
	女性	実数	11	32	7	3	0	53
		比率	20.8	60.4	13.2	5.7	0.0	100.0
大学教員(45 歳未満)	男性	実数	30	56	15	9	1	111
		比率	27.0	50.5	13.5	8.1	0.9	100.0
	女性	実数	2	20	5	3	0	30
		比率	6.7	66.7	16.7	10.0	0.0	100.0

注)Q1 の性別についての設問で「どちらでもない」と回答したものと無回答を除く。

表 34 研究機関研究員の研究費総額に占める所属機関、外部資金(科研費、民間助成金等)、私費の割合

1)全体

Q10～Q10・SQ2XQ22		80～100%	60～80%未満	40～60%未満	20～40%未満	10～20%未満	0～10%未満	無回答	合計
所属機関	実数	4	3	1	1	6	20	0	35
	比率	11.4	8.6	2.9	2.9	17.1	57.1	0.0	100.0
外部資金	実数	10	4	3	3	1	14	0	35
	比率	28.6	11.4	8.6	8.6	2.9	40.0	0.0	100.0
私費	実数	12	1	1	10	7	3	0	35
	比率	34.3	2.9	5.7	28.6	20.0	8.6	0.0	100.0

2)有給

Q10～Q10・SQ2 XQ39XQ22		80～100%	60～80%未満	40～60%未満	20～40%未満	10～20%未満	0～10%未満	無回答	合計
所属機関	実数	4	2	1	1	6	18	0	32
	比率	12.5	6.3	3.1	3.1	18.8	56.3	0.0	100.0
外部資金	実数	5	4	3	3	1	11	0	32
	比率	18.5	14.8	11.1	11.1	3.7	40.7	0.0	100.0
私費	実数	10	1	2	9	7	3	0	32
	比率	31.3	3.1	6.3	28.1	21.9	9.4	0.0	100.0

3)無給

Q10～Q10・SQ2 XQ39XQ22		80～100%	60～80%未満	40～60%未満	20～40%未満	10～20%未満	0～10%未満	無回答	合計
所属機関	実数	0	1	0	0	0	2	0	3
	比率	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	100.0
外部資金	実数	0	0	0	0	0	3	0	3
	比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
私費	実数	2	0	0	1	0	0	0	3
	比率	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0

4)男性

Q10～Q10・SQ2 XQ22		80～100%	60～80%未満	40～60%未満	20～40%未満	10～20%未満	0～10%未満	無回答	合計
所属機関	実数	2	2	1	1	5	10	0	21
	比率	9.5	9.5	4.8	4.8	23.8	47.6	0.0	100.0
外部資金	実数	7	2	3	2	0	7	0	21
	比率	33.3	9.5	14.3	9.5	0.0	33.3	0.0	100.0
私費	実数	6	0	2	6	5	2	0	21
	比率	28.6	0.0	9.5	28.6	23.8	9.5	0.0	100.0

5)女性

Q10～Q10・SQ2 XQ22		80～100%	60～80%未満	40～60%未満	20～40%未満	10～20%未満	0～10%未満	無回答	合計
所属機関	実数	2	1	0	0	1	9	0	13
	比率	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	69.2	0.0	100.0
外部資金	実数	3	2	0	0	1	7	0	13
	比率	23.1	15.4	0.0	0.0	7.7	53.8	0.0	100.0
私費	実数	6	0	0	4	2	1	0	13
	比率	46.2	0.0	0.0	30.8	15.4	7.7	0.0	100.0

表 35　1 年間の個人研究費として足りる金額

1)立場別

Q10・SQ3XQ2XQ22	実数	最大値	最小値	平均値	中央値	標準偏差
回答者全体	498	1000	0	98.265	80.000	87.920
大学院生	75	350	0	88.333	80.000	64.600
大学非常勤講師	43	200	5	69.070	60.000	39.443
研究機関研究員	35	300	20	108.571	100.000	63.992
大学教員	259	1000	20	104.228	100.000	86.634
大学教員(45 歳未満)	143	1000	20	106.154	100.000	90.452
専門職	36	500	15	90.833	50.000	100.360
中学校・高校教員	15	150	10	54.000	50.000	36.410
自由研究者	31	500	10	107.613	80.000	119.530

注)明らかに桁を誤った回答については、集計に際して修正した。

2)研究機関研究員

Q10・SQ3XQ22	研究機関研究員	
	実数	比率
0～20 万円未満	0	0.0
20～40 万円未満	1	2.9
40～60 万円未満	8	22.9
60～80 万円未満	3	8.6
80～100 万円未満	3	8.6
100～150 万円未満	11	31.4
150～200 万円未満	3	8.6
200～300 万円未満	5	14.3
300 万円以上	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	35	100.0

注)明らかに桁を誤った回答については、集計に際して修正した。

表 36　研究機関研究員のセクシュアル・ハラスメントの経験の有無(性別)

Q19XQ1XQ22	研究機関研究員				回答者全体					
	男性		女性		男性		女性		どちらでもない	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	4	19.0	5	38.5	20	5.3	47	34.1	1	33.3
なし	17	81.0	8	61.5	354	93.9	90	65.2	2	66.7
無回答	0	0.0	0	0.0	3	0.8	1	0.7	0	0.0
合計	21	100.0	13	100.0	377	100.0	138	100.0	3	100.0

注)回答者の特定を避けるため、性別回答で「どちらでもない」との回答は立場別分析に反映させていない。

表 37　研究機関研究員のセクシュアル・ハラスメントを聞いた経験の有無（性別）

Q19・SQ XQ1XQ22	研究機関研究員				回答者全体					
	男性		女性		男性		女性		どちらでもない	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	11	52.4	12	92.3	187	49.6	97	70.3	2	66.7
なし	10	47.6	1	7.7	187	49.6	41	29.7	1	33.3
無回答	0	0.0	0	0.0	3	0.8	0	0.0	0	0.0
合計	21	100.0	13	100.0	377	100.0	138	100.0	3	100.0

注）回答者の特定を避けるため、性別回答で「どちらでもない」との回答は立場別分析に反映させていない。

表 38　研究機関研究員のアカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントの経験の有無（性別）

Q20XQ1 XQ22	研究機関研究員				回答者全体					
	男性		女性		男性		女性		どちらでもない	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	10	47.6	8	61.5	98	26.0	54	39.1	2	66.7
なし	11	52.4	5	38.5	273	72.4	84	60.9	1	33.3
無回答	0	0.0	0	0.0	6	1.6	0	0.0	0.0	0.0
合計	21	100.0	13	100.0	377	100.0	138	100.0	3	100.0

注）回答者の特定を避けるため、性別回答で「どちらでもない」との回答は立場別分析に反映させていない。

表 39　研究機関研究員のアカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントを聞いた経験の有無（性別）

Q20・SQ XQ1XQ22	研究機関研究員				回答者全体					
	男性		女性		男性		女性		どちらでもない	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
あり	17	81.0	10	76.9	271	71.9	108	78.3	3	100
なし	3	14.3	3	23.1	101	26.8	29	21.0	0	0
無回答	1	4.8	0	0.0	5	1.3	1	0.7	0.0	0.0
合計	21	100.0	13	100.0	377	100.0	138	100.0	3	100.0

注）回答者の特定を避けるため、性別回答で「どちらでもない」との回答は立場別分析に反映させていない。

表 40　研究機関研究員と大学教員の同居の家族関係（複数回答）

Q62XQ2 XQ22		本人のみ	配偶者／パートナー	扶養している子ども	家計が独立している子ども	親・兄弟姉妹	無回答	合計	ケース数
研究機関研究員	実数	12	19	8	1	4	0	44	35
	比率	34.3	54.3	22.9	2.9	11.4	0.0	125.7	100.0
大学教員全体	実数	76	165	97	6	15	0	359	260
	比率	29.2	63.5	37.3	2.3	5.8	0.0	138.1	100.0
大学教員（45 歳未満）	実数	49	84	48	0	9	0	190	86
	比率	57.0	97.7	55.8	0.0	10.5	0.0	220.9	100.0

1)「本人のみ」と回答するとともに、他の同居人を選択した回答の場合、「本人のみ」の回答を無視した。
2)「配偶者／パートナー」には「単身赴任だが月に 2 度は連れ合いに会っている」が含まれる。

表 41　研究機関研究員と大学教員の同居の家族関係（性別、複数回答）

Q62XQ1 XQ2XQ22			本人のみ	配偶者／パートナー	扶養している子	家計が独立している子	親・兄弟姉妹	無回答	合計	ケース数
研究機関研究員	男性	実数	11	7	2	1	3	0	24	21
		比率	52.4	33.3	9.5	4.8	14.3	0.0	114.3	100.0
	女性	実数	1	11	6	0	1	0	19	13
		比率	7.7	84.6	46.2	0.0	7.7	0.0	146.2	100.0
大学教員全体	男性	実数	55	141	80	6	10	0	292	204
		比率	27.0	69.1	39.2	2.9	4.9	0.0	143.1	100.0
	女性	実数	21	23	16	0	5	0	65	55
		比率	38.2	41.8	29.1	0.0	9.1	0.0	118.2	100.0
大学教員（45 歳未満）	男性	実数	36	72	41	0	4	0	153	68
		比率	52.9	105.9	60.3	0.0	5.9	0.0	225.0	100.0
	女性	実数	10	12	7	0	5	0	34	18
		比率	55.6	66.7	38.9	0.0	27.8	0.0	188.9	100.0

1)Q1 で「どちらでもない」と回答した 3 名および Q22 の無回答者 7 名は除く。
2)「本人のみ」と回答するとともに、他の同居人を選択した回答（6 件）があり、その場合、「本人のみ」の回答を無視した。
3)「配偶者／パートナー」には「単身赴任だが月に 2 度は連れ合いに会っている」（1 件）が含まれる。

表 42　研究機関研究員と大学教員のうち既婚者の居住形態（性別）

Q62・SQXQ1 XQ2XQ22	研究機関研究員				大学教員全体				大学教員（45 歳未満）			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
配偶者／パートナーと同居	6	60.0	10.0	90.9	130	83.9	17	50.0	67	83.8	7	35.0
単身赴任／両住まい状態	4	40.0	1.0	9.1	25	16.1	17	50.0	13	16.3	13	65.0
合計	10	100.0	11.0	100.0	155	100.0	34	100.0	80	100.0	20	100.0

注）回答者の特定を避けるため、Q1 の性別を「どちらでもない」と回答したものを除いた。

表 43　立場別・性別の収入源（複数回答、%）

Q64XQ1 XQ2XQ22		本人の収入	給付奨学金	貸与奨学金	親の援助	配偶者／パートナーの収入	その他
大学院生	男性	75.9	29.6	13.0	48.1	9.3	1.9
	女性	75.9	20.7	20.7	58.6	13.8	3.4
大学非常勤講師	男性	100.0	0.0	0.0	37.5	29.2	4.2
	女性	88.9	0.0	0.0	44.4	100.0	0.0
研究機関研究員	男性	95.2	0.0	0.0	9.5	28.6	0.0
	女性	100.0	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0
大学教員	男性	100.0	0.0	0.0	0.5	17.6	1.0
	女性	100.0	0.0	0.0	1.8	20.0	0.0
大学教員（45 歳未満）	男性	100.0	0.0	0.0	0.9	18.6	0.0
	女性	100.0	0.0	0.0	3.2	25.8	0.0
専門職、中学校・高校教員	男性	89.4	0.0	0.0	8.5	2.1	0.0
	女性	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
自由研究者	男性	88.0	0.0	0.0	18.8	14.6	6.3
	女性	90.9	0.0	0.0	5.6	27.8	16.7

1）無回答者を除く。

2）収入源の「その他」には「貯金」、「保険金」、「年金」、「遺族年金」、「投資」、「アルバイト」、「研究と関係のないアルバイト」、「直接の金銭援助ではないが実家の恩恵」が含まれる。

表 44　立場別の個人収入

Q65XQ2 XQ22		100 万円 未満	100～ 200 万円 未満	200～ 400 万円 未満	400～ 600 万円 未満	600 ～ 800 万円 未満	800 ～ 1000 万円 未満	1000 ～ 1500 万円 未満	1500 ～ 2000 万円 未満	2000 万円 以上	計
大学院生	回答数	25	34	19	4	0	0	0	1	0	83
	比率	30.1	41.0	22.9	4.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	100.0
大学 非常勤講師	回答数	9	21	10	2	0	0	0	0	0	42
	比率	21.4	50.0	23.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
研究機関 研究員	回答数	0	7	19	7	2	0	0	0	0	35
	比率	0.0	20.0	54.3	20.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学教員	回答数	0	0	13	46	83	63	52	0	1	258
	比率	0.0	0.0	5.0	17.8	32.2	24.4	20.2	0.0	0.4	100.0
大学教員 (45 歳未満)	回答数	0	0	13	39	53	33	5	0	0	143
	比率	0.0	0.0	9.1	27.3	37.1	23.1	3.5	0.0	0.0	100.0
専門職	回答数	0	8	13	11	5	0	0	0	0	37
	比率	0.0	21.6	35.1	29.7	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
中学・ 高校教員	回答数	0	2	2	4	4	4	0	0	0	16
	比率	0.0	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
自由研究者	回答数	6	12	8	8	1	1	0	0	0	36
	比率	16.7	33.3	22.2	22.2	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	100.0

注)Q22 の無回答者 7 名および Q65 の無回答者 6 名を除く。

表 45　立場別・性別の個人収入

Q65XQ1 XQ2XQ22			100 万円 未満	100 ～ 200 万円 未満	200 ～ 400 万円 未満	400 ～ 600 万円 未満	600 ～ 800 万円 未満	800 ～ 1000 万円 未満	1000 ～ 1500 万円 未満	1500 ～ 2000 万円 未満	2000 万円 以上	計
大学院生	男性	回答数	15	22	14	3	0	0	0	0	0	54
		比率	27.8	40.7	25.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	10	12	5	1	0	0	0	1	0	29
		比率	34.5	41.4	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	100.0
大学非常勤講師	男性	回答数	4	11	7	2	0	0	0	0	0	24
		比率	16.7	45.8	29.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	5	10	3	0	0	0	0	0	0	18
		比率	27.8	55.6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
研究機関研究員	男性	回答数	0	3	14	3	1	0	0	0	0	21
		比率	0.0	14.3	66.7	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	0	4	4	4	1	0	0	0	0	13
		比率	0.0	30.8	30.8	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学教員	男性	回答数	0	0	9	36	64	49	44	0	1	203
		比率	0.0	0.0	4.4	17.7	31.5	24.1	21.7	0.0	0.5	100.0
	女性	回答数	0	0	4	10	18	14	8	0	0	54
		比率	0.0	0.0	7.4	18.5	33.3	25.9	14.8	0.0	0.0	100.0
大学教員（45 歳未満）	男性	回答数	0	0	9	32	43	24	4	0	0	112
		比率	0.0	0.0	8.0	28.6	38.4	21.4	3.6	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	0	0	4	7	10	9	1	0	0	31
		比率	0.0	0.0	12.9	22.6	32.3	29.0	3.2	0.0	0.0	100.0

注）Q1 の性別を「どちらでもない」と回答した者、Q22 の無回答者および Q65 の無回答者を除く。

表 46　立場別の世帯収入

Q66XQ2XQ22		100 万円 未満	100 ～ 200 万円 未満	200 ～ 400 万円 未満	400 ～ 600 万円 未満	600 ～ 800 万円 未満	800 ～ 1000 万円 未満	1000 ～ 1500 万円 未満	1500 ～ 2000 万円 未満	2000 万円 以上	計
大学院生	回答数	8	12	18	7	6	7	4	2	2	66
	比率	12.1	18.2	27.3	10.6	9.1	10.6	6.1	3.0	3.0	100.0
大学 非常勤講師	回答数	2	4	9	10	8	5	2	0	0	40
	比率	5.0	10.0	22.5	25.0	20.0	12.5	5.0	0.0	0.0	100.0
研究機関 研究員	回答数	2	2	13	6	2	3	2	1	0	31
	比率	6.5	6.5	41.9	19.4	6.5	9.7	6.5	3.2	0.0	100.0
大学教員	回答数	2	0	10	29	55	48	60	35	6	245
	比率	0.8	0.0	4.1	11.8	22.4	19.6	24.5	14.3	2.4	100.0
大学教員 （45 歳未満）	回答数	1	0	10	27	42	22	21	15	0	138
	比率	0.7	0.0	7.2	19.6	30.4	15.9	15.2	10.9	0.0	100.0
専門職	回答数	1	4	11	10	6	2	0	2	0	36
	比率	2.8	11.1	30.6	27.8	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	100.0
中学・ 高校教員	回答数	2	0	1	2	3	3	2	1	1	15
	比率	13.3	0.0	6.7	13.3	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	100.0
自由研究者	回答数	2	5	5	5	9	2	4	1	0	33
	比率	6.1	15.2	15.2	15.2	27.3	6.1	12.1	3.0	0.0	100.0

注）Q22 の無回答者 7 名および Q66 の無回答者を除く。

表 47　立場別・性別の世帯収入

Q66XQ1 XQ2XQ22			100 万円 未満	100 ～ 200 万円 未満	200 ～ 400 万円 未満	400 ～ 600 万円 未満	600 ～ 800 万円 未満	800 ～ 1000 万円 未満	1000 ～ 1500 万円 未満	1500 ～ 2000 万円 未満	2000 万円 以上	計
大学院生	男性	回答数	6	9	13	6	5	6	1	0	1	47
		比率	12.8	19.1	27.7	12.8	10.6	12.8	2.1	0.0	2.1	100.0
	女性	回答数	2	3	5	1	1	1	3	2	1	19
		比率	10.5	15.8	26.3	5.3	5.3	5.3	15.8	10.5	5.3	100.0
大学非常勤講師	男性	回答数	2	4	6	7	2	1	0	0	0	22
		比率	9.1	18.2	27.3	31.8	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	0	0	3	3	6	4	2	0	0	18
		比率	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	100.0
研究機関研究員	男性	回答数	1	2	11	2	1	1	0	0	0	18
		比率	5.6	11.1	61.1	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性	回答数	1	0	1	4	1	2	2	1	0	12
		比率	8.3	0.0	8.3	33.3	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	100.0
大学教員	男性	回答数	2	0	7	26	48	38	46	24	5	196
		比率	1.0	0.0	3.6	13.3	24.5	19.4	23.5	12.2	2.6	100.0
	女性	回答数	0	0	3	3	9	10	13	12	1	51
		比率	0.0	0.0	5.9	5.9	17.6	19.6	25.5	23.5	2.0	100.0
大学教員（45 歳未満）	男性	回答数	1	0	7	24	35	18	16	7	0	108
		比率	0.9	0.0	6.5	22.2	32.4	16.7	14.8	6.5	0.0	100.0
	女性	回答数	0	0	3	3	7	4	5	8	0	30
		比率	0.0	0.0	10.0	10.0	23.3	13.3	16.7	26.7	0.0	100.0

注）Q1 の性別を「どちらでもない」と回答した者、Q22 の無回答者および Q65 の無回答者を除く。

表 48　立場別・性別の世帯形成・出産・育児・介護と仕事との両立
（5 を最高とする 5 段階評価の平均値）

Q63XQ1 XQ2XQ22		世帯形成の困難	子どもをもつことの困難	出産による研究・教育活動の制約	育児による研究・教育活動の制約	親の介護による研究・教育活動の制約
大学院生	男性	3.65	3.83	3.06	3.26	3.00
	女性	3.47	3.80	3.90	3.90	3.17
大学非常勤講師	男性	3.64	3.88	3.24	3.48	3.48
	女性	2.28	3.22	3.72	3.72	3.22
研究機関研究員	男性	3.71	3.90	3.24	3.33	3.19
	女性	3.77	4.62	4.31	4.69	3.23
大学教員	男性	2.66	2.89	2.81	3.22	2.89
	女性	3.25	3.82	3.89	3.95	3.49
大学教員（45 歳未満）	男性	3.09	3.48	3.20	3.60	2.78
	女性	3.55	4.16	3.97	3.97	3.39
専門職	男性	3.30	3.57	3.10	3.37	3.00
	女性	3.57	4.57	4.43	4.43	3.43
中学校・高校教員	男性	3.00	3.29	2.86	2.93	2.71
	女性	3.00	3.00	3.50	3.50	3.50
自由研究者	男性	3.32	3.72	3.20	3.48	2.60
	女性	2.91	3.27	3.73	3.91	3.55

注）Q1 の性別について「どちらでもない」と回答した 3 名および Q22 の無回答者 7 名は除く。

表 49　研究機関研究員（性別）の世帯形成・出産・育児・介護と仕事との両立
1）男性

Q63XQ1XQ22	世帯形成の困難		子どもをもつことの困難		出産による研究・教育活動の制約		育児による研究・教育活動の制約		親の介護による研究・教育活動の制約	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	5	23.8	8	38.1	5	23.8	5	23.8	6	28.6
ある程度感じる	10	47.6	9	42.9	6	28.6	7	33.3	4	19.0
どちらとも言えない	3	14.3	0	0.0	3	14.3	3	14.3	4	19.0
あまり感じない	1	4.8	2	9.5	3	14.3	2	9.5	2	9.5
全く感じない	2	9.5	2	9.5	4	19.0	4	19.0	5	23.8
合計	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0	21	100.0

2)女性

Q63XQ1XQ22	世帯形成の困難		子どもをもつことの困難		出産による研究・教育活動の制約		育児による研究・教育活動の制約		親の介護による研究・教育活動の制約	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	6	46.2	8	61.5	8	61.5	11	84.6	4	30.8
ある程度感じる	4	30.8	5	38.5	2	15.4	0	0.0	2	15.4
どちらとも言えない	0	0.0	0	0.0	2	15.4	2	15.4	2	15.4
あまり感じない	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	3	23.1
全く感じない	3	23.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4
合計	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0	13	100.0

表 50 研究者全般をとりまく社会環境に関する意識(5 を最高とする 5 段階評価の平均値)

Q11XQ2XQ22	研究者全般に対する社会的評価に満足できる	研究者は社会に対して十分に貢献している	学問の世界は社会に対して開かれている	研究者に対して十分に報酬が支払われている	研究者は社会の中で十分に活用されている
大学院生	2.36	3.04	2.36	2.18	2.25
大学非常勤講師	2.42	2.95	2.65	1.93	1.91
研究機関研究員	2.14	2.66	2.43	1.74	1.74
大学教員	2.73	3.19	2.94	2.57	2.34
大学教員(45 歳未満)	2.69	3.24	2.93	2.58	2.34
専門職	2.46	2.95	2.35	1.95	2.05
中学校・高校教員	2.25	2.75	2.38	1.75	1.88
自由研究者	2.00	2.58	2.22	1.78	1.81

表 51 研究機関研究員の研究者全般をとりまく社会環境に関する意識

Q11XQ22	研究者全般に対する社会的評価に満足できる		研究者は社会に対して十分に貢献している		学問の世界は社会に対して開かれている		研究者に対して十分に報酬が支払われている		研究者は社会の中で十分に活用されている	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	1	2.9	1	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ある程度感じる	3	8.6	8	22.9	6	17.1	1	2.9	2	5.7
どちらとも言えない	6	17.1	9	25.7	10	28.6	5	14.3	2	5.7
あまり感じない	15	42.9	12	34.3	12	34.3	13	37.1	16	45.7
全く感じない	10	28.6	5	14.3	7	20.0	16	45.7	15	42.9
合計	35	100.0	35	100.0	35	100.0	35	100.0	35	100.0

表 52　歴史研究者をとりまく社会・研究環境に関する意識（5 を最高とする 5 段階評価の平均値）

Q12XQ2 XQ22	歴史研究者に対する社会的評価に満足できる	歴史研究者は社会に対して十分に貢献している	歴史学の世界は社会に対して開かれている	歴史研究者に対して十分に報酬が支払われている	歴史研究者は社会の中で十分に活用されている
大学院生	1.98	2.83	2.55	2.02	2.04
大学非常勤講師	2.19	2.79	2.72	1.91	1.91
研究機関研究員	1.80	2.57	2.60	1.51	1.71
大学教員	2.30	3.03	2.96	2.43	2.20
大学教員（45 歳未満）	2.26	2.97	2.88	2.40	2.14
専門職	2.19	2.62	2.46	1.86	1.89
中学校・高校教員	2.13	2.56	2.25	1.75	2.06
自由研究者	1.83	2.44	2.17	1.83	1.89

表 53　研究機関研究員の歴史研究者をとりまく社会・研究環境に関する意識

Q12XQ22	研究者全般に対する社会的評価に満足できる		研究者は社会に対して十分に貢献している		学問の世界は社会に対して開かれている		研究者に対して十分に報酬が支払われている		研究者は社会の中で十分に活用されている	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	0	0.0	1	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ある程度感じる	3	8.6	7	20.0	9	25.7	1	2.9	1	2.9
どちらとも言えない	3	8.6	10	28.6	8	22.9	2	5.7	3	8.6
あまり感じない	13	37.1	10	28.6	13	37.1	11	31.4	16	45.7
全く感じない	16	45.7	7	20.0	5	14.3	21	60.0	15	42.9
合計	35	100.0	35	100.0	35	100.0	35	100.0	35	100.0

表 54　立場別の若手研究者をめぐる就職環境・雇用条件に関する意識
（5 を最高とする 5 段階評価の平均値）

Q67XQ2XQ22	就職の困難	雇用条件の悪化	学会の取り組み
大学院生	4.70	4.48	4.55
大学非常勤講師	4.67	4.60	4.49
研究機関研究員	4.74	4.51	4.54
大学教員	4.69	4.63	4.55
大学教員（45 歳未満）	4.63	4.58	4.47
専門職	4.68	4.54	4.70
中学校・高校教員	4.63	4.75	4.63
その他	4.78	4.56	4.53

注）Q22 の無回答者 7 名は除く。

表 55　立場別・性別の若手研究者をめぐる就職環境・雇用条件に関する意識
（5 を最高とする 5 段階評価の平均値）

Q67XQ1XQ2XQ22		就職の困難	雇用条件の悪化	学会の取り組み
大学院生	男性	4.76	4.52	4.67
	女性	4.60	4.40	4.33
大学非常勤講師	男性	4.72	4.68	4.56
	女性	4.61	4.50	4.39
研究機関研究員	男性	4.76	4.57	4.43
	女性	4.69	4.38	4.69
大学教員	男性	4.73	4.69	4.59
	女性	4.56	4.40	4.40
大学教員（45 歳未満）	男性	4.65	4.63	4.51
	女性	4.58	4.39	4.45
専門職、中学校・高校教員	男性	4.68	4.64	4.70
	女性	4.56	4.44	4.56
自由研究者	男性	4.84	4.48	4.44
	女性	4.64	4.73	4.73

1）Q1 および Q22 の無回答を除く。
2）回答者の特定を避けるため、回答者が少ない専門職と中学校・高校教員を足して算出した。

表 56　研究機関研究員の若手研究者をめぐる就職環境・雇用条件に関する意識（性別）
1）男性

Q67XQ1XQ22	就職の困難		雇用条件の悪化		学会の取り組み	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	18	85.7	16	76.2	15	71.4
ある程度感じる	2	9.5	2	9.5	2	9.5
どちらとも言えない	0	0.0	2	9.5	3	14.3
あまり感じない	1	4.8	1	4.8	0	0.0
全く感じない	0	0.0	0	0.0	1	4.8
合計	21	100.0	21	100.0	21	100.0

2）女性

Q67XQ1XQ22	就職の困難		雇用条件の悪化		学会の取り組み	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
とても感じる	10	76.9	9	69.2	10	76.9
ある程度感じる	2	15.4	1	7.7	2	15.4
どちらとも言えない	1	7.7	2	15.4	1	7.7
あまり感じない	0	0.0	1	7.7	0	0.0
全く感じない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	13	100.0	13	100.0	13	100.0

注）Q1 の性別を「どちらでもない」と回答した者を除く。